



日本は文化的景観を受け止められるか

【講師】下間久美子

國學院大学観光まちづくり学部 観光まちづくり学科教授

JIA 再生部会は「今ある良いものを使い続ける」ための活動を行っています。今回は下間久美子さんにおいでいただき、お話を伺った後に自由に意見交換を行います。

[下間久美子] 文化的景観は、使いながら建物を守る、観光で祭りを守る、創意工夫で食文化を継承する等、いわゆるリビングヘリテージの複合体のような文化財である。そのため、何を守っているのか曖昧で、守り方も不明瞭で、巷では「わかりにくい文化財」と言われることもある。しかし、登録有形文化財は如何に守り得るか(平成8年～)、文化財保存活用地域計画に基づき「地域社会総がかり」での継承を如何に推進し得るか(平成30年～)、登録文化財制度を用いて無形の文化財を如何に伝えていくか(令和3年～)等、いずれも根底にある問題は文化的景観と同じである。文化財としての「真正さ」と、居住環境に向き合う「真剣さ」、その両側面を満たす「良い現状変更」があるということに、社会的コンセンサスを築き上げていく必要があるのではないだろうか。文化的景観制度の運用状況を通して、現在の文化財保護の課題を考えてみたい。



講師の紹介

略歴: 千葉大学工学部建築学科卒業、東京大学大学院(博士課程)中退、1994年～2022年文化庁、2022年より現職
研究専門分野: 都市保全(歴史的な都市、町並み、集落の保全)、文化財(特に文化財建造物の防災及び活用、集落・町並みの保全、文化的景観の保全、世界遺産)

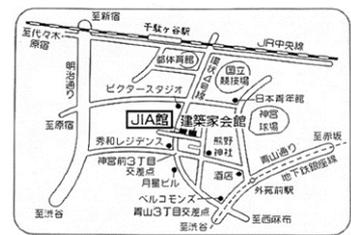


竹富島の町並み(重伝建)となごみの塔



彦根藩善利組 組屋敷のある四つ角

- 日 時 2023年9月20日(水) 19:00～21:00
- 主 催 JIA 関東甲信越支部再生部会(代表 大橋智子)
- 会 場 JIA 建築家クラブ(右案内図 JIA 館)
- ZOOM による同時配信も行います
ミーティング ID 835 0994 5785 パスコード 316905



<https://us06web.zoom.us/j/83509945785?pwd=SXVtaEVRSitrMVplMDZ0NUdLLzdZz09>

- 資料代 ¥500 ZOOM 参加は無料
- 参加方法 参加ご希望の方は、お名前、所属、メールアドレス、CPDをご希望の方はCPD番号をご記入の上メールにて satok-o@nifty.com (JIA 再生部会 大橋智子) までお申し込み下さい。締切り:9月19日(火)
- CPD2単位

■ JIA 再生部会では建築リノベーション事例を集めて紹介する website「[建築リノベーションアーカイブ.com](https://renovation-archive.com/)」を運営しています。是非ご覧下さい。 <https://renovation-archive.com/>